



《山霊喚議》1997年

自然の中に身を置いて繰り返し写生をし、風景との対話を重ねながら、四季折々の自然の姿を、時には静かに、時には荒々しく、自らの筆で表現してきた奥田元宋。心に宿る情感を「ひとがた」に託し、自然との共生や母子の情愛などをテーマに、華やかで安らぎに満ちた作品を世に問い続ける奥田小由女。奥田元宋・小由女ご夫妻は「ふたりの美術館」をつくることを長年の夢として心に抱き、作品が散逸しないよう大切に保管されていました。それらの作品が一括して故郷の三次市に寄贈され、実現した「奥田元宋・小由女美術館」。日本でも例を見ない夫婦の名前を冠したこの美術館は、日本画の「平面」と人形の「立体」が織りなす、故郷に刻む奥深い芸術の殿堂です。



《海の母》1988年

文化功労者  
人形作家

## 奥田小由女



1936(昭和11)年、大阪府堺市に生まれ、3年後広島県双三郡吉舎町(現在の三次市吉舎町)に移る。旧姓・川井小由女。創造的な人形作品に影響を受け、日影館高校卒業後に上京し、人形の勉強に取り組んだ。初期の頃は主に白を基調とした抽象的な造形表現を試みていたが、奥田元宋と結婚後、色彩豊かな女性像の作品が中心となってゆく。1988(平成10)年には人形作家としては初めて日本芸術院会員に任命された。2008(平成20)年に文化功労者に顕彰される。日展、日本現代工芸美術展などに出品を重ね、日展副理事長や現代工芸美術家協会副理事長を務めるなど、現在も日本を代表する人形作家の一人として活躍中である。

文化勲章受章  
日本画家

## 奥田元宋



1912(明治45)年、広島県双三郡八幡村(現在の三次市吉舎町)に生まれる。1930(昭和5)年に上京し、同郷の日本画家・児玉希望の内弟子として本格的な画家生活に入る。戦前は人物画や花鳥画を中心に創作していたが、戦況悪化にともない郷里に疎開。故郷三次の自然を写生することに没頭し、風景画に開眼。1949(昭和24)年の日展にて《待月》が特選と白鳳賞を受賞し、風景画家としての画業を歩み始めた。その後、風景画を通して日本画の新たな表現を模索し続け、1975(昭和50)年の《秋萩雑樹》などで赤い風景画の世界を切り拓いた。1984(昭和59)年に文化勲章を受章、1989(平成元)年には広島県名誉県民として表彰された。2003(平成15)年9月15日、多くの人に惜しまれつつ逝去。享年90歳。



《山雀一樹》1985年

ふたりの思いをここに。



《紅葉》1987年

本物の感動は、未来へ継承される。

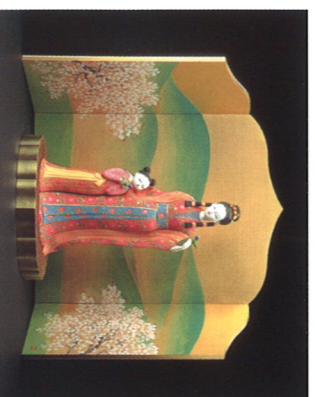
互いに支え合い、刺激し合う暮らしの中から生まれた、魂を揺さぶるふたりの芸術作品。故郷三次は、奥田元宋・小由女の夢を叶え、志を受継ぎ、次代への継承を託されたのです。(これらの作品は年3~4回の展示替えの中で随時ご覧いただけます。)



《猿蓑》1986年



《花のみち》1985年



《春陽清韻》(元宋・小由女共作) 2000年



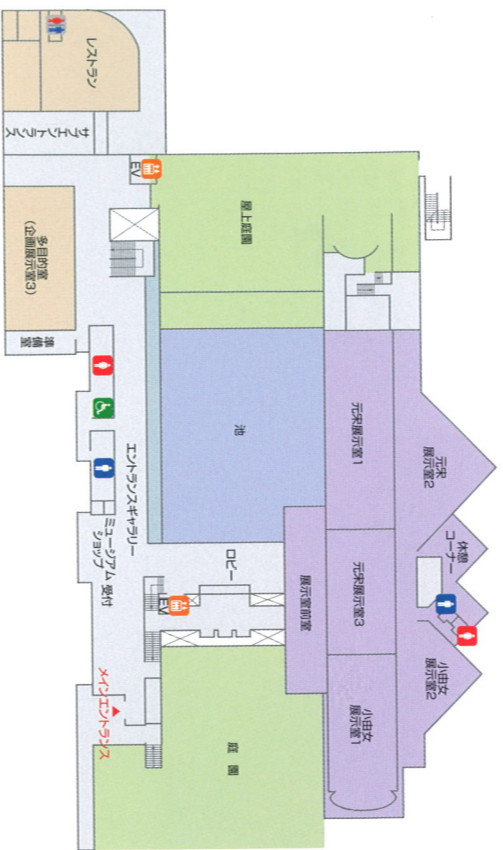
《英王國》1978年



。るまを、こい郷放

# FLOOR GUIDE

## フロア案内



3F

■常設展示室 (元宋・小由女展示室)  
日本画家・奥田元宋と人形作家・奥田小由女のおふたりから三次市に寄贈を受けた各々の代表作を中心に、最高の芸術作品をご鑑賞いただけます。美術館への寄託作品も交えながら、年数回の展示替えを行います。

■多目的室 (企画展示室3)  
美術館主催の展覧会やイベント会場として使用するほか、展覧会や会議スペースとして貸し出しもを行います。

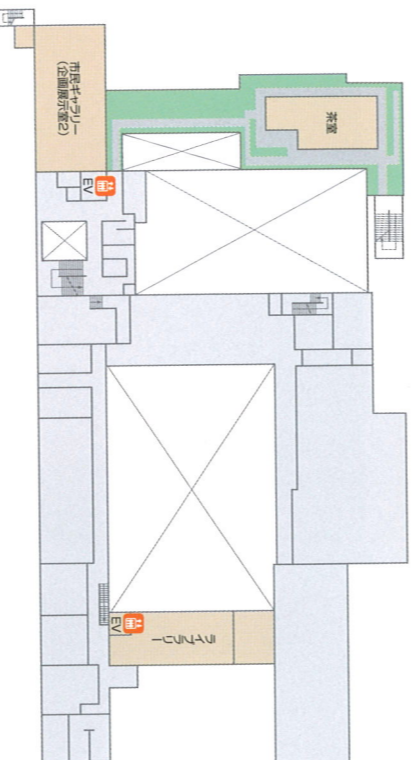
■ミュージウムショップ  
奥田元宋・小由女美術館オリジナルグッズをはじめ、魅力的な商品を多数取りそろえています。

■レストラン  
地元三次産の安全・安心・新鮮な食材を活用した料理の数々、和洋折衷の創作メニューをお召し上がりいただけます。

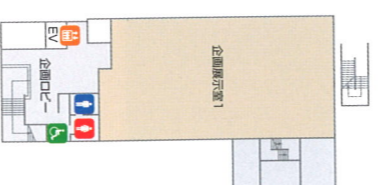
### 月恋し。元宋の作品「待月」を再現

元宋作品のモチーフに、しばしば登場する月。ロビーから時期が合えば山の背後からのぼる月を鑑賞できます。全国初の試みとなる「十五夜時間」の設定。満月の日は特別に午後9時まで開館時間を延長。各種イベントを開催します。

2F



1F



### ■茶室

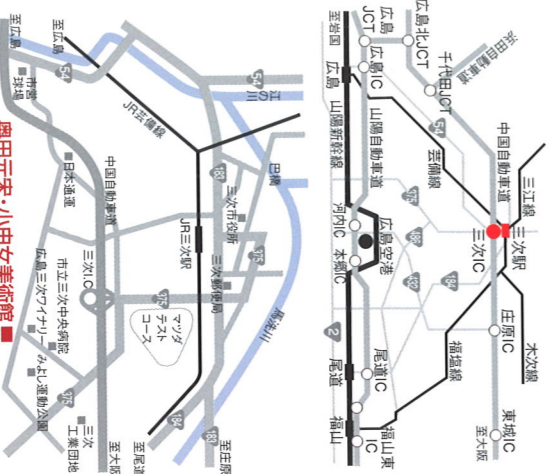
来館者への呈茶サービスで寛ぎの時間を提供。また、お茶会などのスペースとして貸し出しも行っていきます。

■市民ギャラリー (企画展示室2)  
展覧会スペースとして使用でき、市民の創作発表の場にも最適です。また、美術館主催の展覧会会場にも活用します。

■ライブラリー  
美術に関する図書などを自由に閲覧できます。また、美術館に収蔵されている作品に関する情報を検索できるデータベースシステムも設けています。

### ■施設概要

敷地面積：9,500㎡  
延床面積：約4,900㎡  
展示室面積：1,840㎡  
(常設展示室：993㎡・企画展示室1・2・3:847㎡)  
建物構造：鉄筋コンクリート造3階建



- 中国自動車道三次ICから車で約3分
- JR三次駅から車で約6分
- 広島空港から車で約70分
- 駐車場: 乗用車240台・バイク10台

## サポートメンバー募集中

- 特典1 常設展、美術館主催の企画展に無料でご入場いただけます。(メンバーによって、回数制限があります)
- 特典2 美術館広報紙の送付、イベント情報等のお知らせをします。
- 特典3 美術館の催し物 (企画展の開催セミナー、ロビーコンサート等) にご招待します。
- 特典4 ミュージウムショップでのお買い物やレストランご利用の際に割引があります。
- 特典5 美術館オリジナルグッズを贈呈します。(個人特別メンバー、法人メンバー)

### ■利用案内

- 開館時間  
午前9時30分～午後5時  
満月の日は午後9時まで開館
- 休館日  
毎月第2水曜日 ※その他に臨時休館・休館することがあります。

	個人通常	個人特別	法人
年会費	3,000円	10,000円	50,000円
常設展	無料	無料	1回に5名まで無料
企画展	2回まで無料	無料	1回に5名まで無料
ミュージウムショップ	5%割引		

### 【観覧料】

	個人	団体・前売
一般	800円	700円
ペアチケット(一般のみ)	1,500円	
大学生	400円	300円
高校生以下	無料	

※団体料金は20名以上から  
※企画展は別途設定。(常設展観覧料含む)  
※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方、観覧料無料



奥田元宋・小由女美術館  
Okuda Genso Sayume Art Museum  
〒728-0023 広島県三次市東酒原町453-6 TEL:0824(65)0010  
http://www.genso-sayume.jp/ info@genso-sayume.jp